



春のイベント情報 Information on Spring Events

による餅まきがあります。

期日 4月3日(火)

場所 飛驒一宮水無神社(一之宮町)

内容 午前10時〜物販開始／午後1時〜生きびな行列／午後3時〜餅まき

問合先 飛驒一之宮観光協会
☎53-2149

飛驒の里4月からの実演

わら細工や千鳥格子、さしこ、機織り、陶芸などの実演や体験ができます。

期日 4月〜11月

時間 午前10時〜午後3時

場所 飛驒の里(上岡本町1)

※市民の方は市内在住が確認できるものを窓口で提示すると入館無料です。

問合先 飛驒民俗村
☎34-4711

飛驒高山まちの博物館

春季特別展

県博物館移動展

「恐竜の世界〜小田隆が描く古生物の姿〜」

恐竜復元画家・小田隆さんの作品展示です。

期日 4月11日(水)〜6月10日(日)

時間 午前9時〜午後7時

場所 飛驒高山まちの博物館

(上一之町)

問合先 飛驒高山まちの博物館
☎32-1205



今年の生きびなの皆さんです

ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛驒・平湯温泉

温泉地を拠点として、その地域特有の食・自然・文化・歴史をウォーキングによって体感する県内初のイベントです。

平湯大ネズコや平湯大滝などを見学しながら、地酒やワインも楽しめます。

期日 5月19日(土)

時間 午前10時〜午後3時

場所 奥飛驒温泉郷平湯温泉一帯

参加費 大人3,500円、小・中学生2,500円(食事、飲み物、温泉入浴券、保険代含む)

定員 300人

内容 スタート・ゴールは市営アカンダナ駐車場。全長は約10kmです。

申込方法 ①インターネットによる申込(24時間受付) <https://www.sportsentry.ne.jp/event/t/74100> ②電話による申込(午前10時〜午後5時30分・土日祝日を除く) ☎0570-1500846

主催 同実行委員会(平湯温泉観光協会・平湯温泉旅館協同組合内) ☎0578-89-3030

問合先 観光課
☎35-3145

飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第5章) 焼岳の活発な火山活動

写真は、大正14年10月12日に焼岳が噴火したとき、当時の上宝第二小学校教員、中村平一氏が撮影したものです。噴火を予想した中村氏は噴火音を聞いて、あらかじめ固定していたカメラのシャッターを切ったそうです。

ものすごい勢いで噴煙が舞い上がり、周辺に火山灰が落下している様子が見てとれます。噴火が始まったときの様子がよく分かる、非常に価値のある写真です。噴煙は上空の偏西風により遠く東京まで火山灰を降らせましたが、人的被害はありませんでした。

大正4年の噴火では、山腹に積もった火山灰などが泥流となつて滑り降り、梓川をせき止めて池を作りました。現在の上高地の大正池です。

近年の噴火では昭和37年に登山者2名が負傷し、泥流が発生して大正池を埋めています。このとき北側の焼岳小屋は全壊し、小屋番は火山弾をくぐつて生還しました。

焼岳は2万年前頃から活動を始めた飛驒山脈で最も活発な火山です。多くの火山の寿命は数十万年です。まだまだ若い活火山です。その特徴は、溶岩のねばりが強い流れにくく火山が盛り上がったドーム状になることと爆発的噴火が起こりやすいことです。

地下には熱いマグマが潜っており、地下水を熱して水蒸気噴火を繰り返しますが、同時に高温で湯量の豊富な温泉もふもとの提供しています。

今でも噴火口から蒸気が上がることもあり焼岳は飛驒山脈の香炉とも呼ばれています。

(飛驒地学研究会 岩田修)



焼岳噴火
大正14年10月 奥飛驒温泉郷 今見より 中村平一氏撮影

問合先 飛驒山脈ジオパーク推進協議会
☎0578-84-0038

